

奈良県議会議員 さいとう 有紀

YUKI
I never give up on the future of Goto City.
SAITO
活動報告 vol.2025 WINTER



五條市5万人の森公園
市立五條文化博物館(安藤忠雄氏設計)

NEWS

五條市の未来を
あきらめない

新春を迎え

謹んで新春をお祝い申し上げます。今年も県民の生命と財産を守り、皆様の生活の質を向上させることに努力を惜しまない。そのような県議会議員として職務を全うしてまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本年も皆様にとって幸多き一年となりますことをお祈り申し上げます。

様々な視察を通して学びを深めた一年

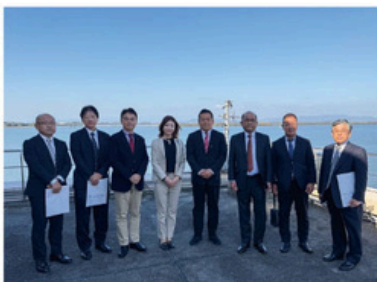
●南部振興議員連盟県内視察

「KITO FOREST MARKET SHIMOICHI」へ視察に伺いました。旧下市南小学校をカフェやキッズスペースなど様々な体験を愉しめる複合施設として活用されていました。木に囲まれた温かい空間でした。奈良県においても施設の利活用は重要な課題であり、この学びを県政の場で活かしてまいります。



●建設委員会県外調査

栃木県にある日本最大の遊水池「渡良瀬遊水池」を視察させていただきました。洪水・濁水における調整機能、水質改善や動植物保護のための様々な取り組みについてのお話を伺いました。奈良県にとっても治水は大きな課題であり、有意義な視察となりました。



奈良県議会野球クラブ
県議会議員×県庁職員との親善試合にて

1984年6月15日生まれ

【略歴】

智辯学園高等学校卒業

京都女子大学文学部国文学科卒業

五條市議会議員

【家族】

夫、息子2人

【所属党派等】

自由民主党・無所属の会



“SNSでも想いを発信”



さいとう有紀

発行: さいとう有紀事務所
〒637-0014 奈良県五條市住川町220-1 ヒルトップ SUGAWA A号室
TEL.0747-24-3110 FAX.0747-25-3333

選ばれるまちになるための取り組み

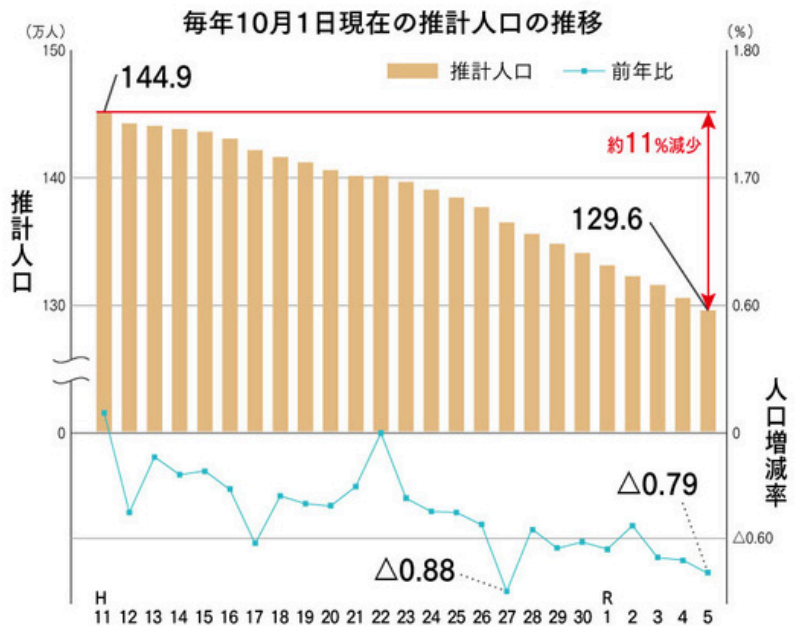
さいとう有紀の



奈良県が国民に率先して「住んでみたい」「働いてみたい」と選ばれるためには、様々なアプローチが必要であると考えます。さいとう有紀は政策の最重要課題として「選ばれるまち」を掲げており、以下の内容について県部局と議論を行っています。

- ①官民一体でまちの魅力や可能性を生かし、産業と雇用を創出
- ②関係人口を増加させる仕組み作りと発信
- ③移住者を増加させるための住環境の向上

奈良県の推計人口※は1,283,679人(令和6年12月1日現在)で、前年同月比と比較し10,940人(0.845%)の減少となっています。平成11年には推計人口が約145万人だったことから、25年で約17万人も減少していることとなります。さらには令和2年度以降は減少数が約1万人/年となっており、人口減少抑制対策は待ったなしの状況であるといえます。奈良県では平成26年8月に「奈良県地方創生本部」を設置し、「住んでよし」「働いてよし」「訪れてよし」という3つの基本目標のもと、「奈良県地方創生総合戦略」を策定し、定住人口及び関係人口を増加させるために様々な事業を実施しています。



※推計人口とは
国勢調査を基礎として、毎月の出生・死亡・転入・転出を加減して算出された推計値をもととした人口数

様々な事業の実施 Execution



道の駅クロスウェイなかまち
(令和6年11月30日開業)



奈良県立医科大学 新キャンパス
(令和7年4月開校予定)

さいとう有紀の



奈良県は3,690km²の面積のうち約77%が山林であり、北西部に人口が偏っていることから、県内において様々なサービスで格差が生じています。しかしながら昨今のデジタル技術の進化に伴い、従来では不可能だった事業やサービスが実施できるようになってきています。奈良県のデジタル化を推進し、地方創生を実現していくために以下の内容について県部局と議論を行っています。

- ① デジタル技術を活用し、地方と都市部の格差是正
- ② 県民の皆様がより使いやすく、より情報を届けるために行政サービスのデジタル化を推進
- ③ 民間事業者のデジタル化促進に向けたインフラ整備の推進

奈良県では令和6年4月から「奈良スーパーアプリ」を運用開始し、県の情報や手続はもちろんのこと、県内市町村との連携により様々なサービスを県民それぞれに提供することを目指して取り組んでいます。また、奈良県では「ほんならバンク」という地域デジタル人材バンク派遣事業を行っており、地域の様々なデジタル課題について解決につながるようサポートしています。



奈良スーパーアプリ(奈良県 HPより引用)



ほんならバンク(奈良県 HPより引用)

奈良県及び五條市の未来を考えるうえで、人口問題は非常に重要な課題です。また、10年後、20年後、50年後、100年後といった様々なケースに対し、その瞬間にできる最善策、未来の技術であればできうるであろう最善策を検討する必要があります。奈良県が今よりももっと魅力的で住みやすい街とするために、ハード・ソフト両面において全国と比較しまだまだ遅れている部分があります。今後も関係部署と議論を行い、県民の皆様にも有効な施策を実行できるよう精進してまいります。



令和6年12月定例会（県議会）

令和6年12月定例会の委員会において、
下記の質問および要望をさせていただきました。

本会議の内容は
動画でもご覧いただけます



総合防災対策特別委員会

- ・五條県有地の整備・維持管理
- ・電力確保の方法についての検討

動画で見る



建設委員会

- ・奈良県土木技術職員就学資金貸与制度について
- ・SNSや電話による通報の受付について
- ・奈良県広域水道企業団における水質検査
及び水道水の供給ルートについて

動画で見る



K-POP イベントについて

本定例会においてK-POP イベントを開催する費用を盛り込んだ議案の採決結果について、多くの皆様からたくさんのご意見をいただきました。12月定例会の補正予算には福祉・医療・こども政策など県民生活にとって重要な項目が含まれており、**予算全体の内容を鑑みて今後の部分的な修正が可能であること、県民生活に支障をきたさず、生命財産を守るための最適解とは何かを考慮し、党議拘束がないことから齋藤有紀は条件付き賛成の立場をとらせていただきました。**

齋藤有紀は本定例会で上程された K-POP イベント開催案では**従来行われてきた様々なイベントと比較しても費用対効果で著しく下回る可能性が大きいことや、奈良公園で開催する場合の様々な問題点の解決が困難であると考えており、経費の抑制や開催場所の再検討など 7 項目にわたり知事に申し入れ（要望）をしました。**引き続き事業を進めるにあたっては議員として、適正監視を続けていくとともに、県民の皆様の一助となれますよう、研鑽してまいります。

2月定例会へ向けて

2月定例会は奈良県の新年度予算案について議論が行われるとても大切な議会となります。予算の中には広域防災拠点整備や教育環境の向上などが含まれると考えられ、奈良県が安全・安心かつ魅力ある街づくりを目指していくうえで非常に重要な定例会となります。私自身も引き続き県に対して、県民にとって適切な予算が盛り込まれているのか注視して、議論を行ってまいりたいと思います。今後も本紙や活動報告を通して奈良県政を分かりやすくお伝えしていきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いたします。

